

学生のみなさんへ

「看護過程の紙面事例を用いた
技術演習の効果」

についてのご説明

第2版

作成日：2016年11月17日

北海道医療センター

はじめに

この冊子は、北海道医療センター附属札幌看護学校において行われている「看護過程の紙面事例を用いた技術演習の効果」という研究について説明したものです。担当教員からこの研究についての説明をお聞きになり、研究の内容を十分にご理解いただいた上で、あなたの自由意思でこの研究に参加していただけるかどうか、お決めください。ご参加いただける場合はアンケートの回答をもって同意とします

1. 研究について

北海道医療センター附属札幌看護学校では、教育の発展に貢献するため、教員は積極的に研究に取り組んでいます。しかし、これらの研究を実施するにあたっては、学生さんの人権や安全への配慮が最も大切です。北海道医療センターでは「倫理審査委員会」を設置し、それぞれの研究について厳密な審査を行っています。この研究は、審査委員会の承認を受け、病院長の許可のもとに実施するものです。

2. この研究の意義と目的

実習での看護技術は、基礎看護方法論で学んだ基本的方法を患者に合わせて工夫して実施します。患者に合わせて実施するためには、安全・安楽や個別性を考えることが必要です。基礎看護学実習Ⅰは、みなさんにとって初めての実習であり、患者の情報収集から看護技術の実施に際し、困難さを感じる事が予測されます。今回、看護過程で学んだ紙面事例をもとに技術演習を実施することにより、患者に合わせた方法の実際が経験でき、実習に臨むことができるようになると思っています。この研究では、学生のみなさんの演習前・演習後・実習後のデータを収集し考察することにより、当校における効果的な実習前の技術演習のありかたを検討することを目的としています。

3. 研究の方法

(1) 対象となる学生

北海道医療センター附属札幌看護学校に在学中の1学年で、基礎看護方法論Ⅵ（看護過程）を履修しており、基礎看護学実習Ⅰを履修する者を対象とします。

(2) 研究の方法

この研究の対象となる学生で、研究へのご協力に同意いただいた方から、次のアンケートを利用させていただきます。なお、この研究にご協力いただけるか否かによって、基礎看護方法論Ⅵおよび基礎看護学実習Ⅰの成績に影響することはありません。

- 1) 技術演習前のアンケート
- 2) 技術演習後のアンケート
- 3) 基礎看護学実習Ⅰ終了後のアンケート

(3) 研究へのご協力をお願いする期間

それぞれの学生にご協力いただく期間は、平成28年11月1日～平成29年1月31日までです。

(4) 研究終了後の対応

この研究が終了した後は、この研究で得られた成果も含めて、担当教員は責任をもって最も適切と考える講義および演習を提供いたします。

4. 予想される利益および不利益（負担およびリスク）

(1) 予想される利益

この研究で実施する、看護過程の紙面事例を用いた技術練習を行うことにより、学生が配慮点・個別性を踏まえた技術を考える力が向上するという利益が生じることが期待されます。

(2) 予想される不利益（負担およびリスク）

この研究で行うアンケート調査では、解答の所要時間として、1回10～15分で計3回の時間を要するため、課外の時間が費やされるという負担があります。

5. ご協力をお願いすること

この研究への参加に同意いただけた場合にご協力をお願いすることは次の2点です。

- ① 回答ボックスにアンケートを提出していただくこと
- ② あなたのアンケートを研究結果の分析に利用させていただくこと

6. 研究実施予定期間と参加予定者数

(1) 実施予定期間

この研究は、2016年11月から2017年3月まで行われます。

(2) 参加予定者数

この研究では、80名の学生さんの参加を予定しております。

7. 研究への参加とその撤回について

あなたがこの研究に参加されるかどうかは、あなたご自身の自由な意思でお

決めください。たとえ参加に同意されない場合でも、あなたは一切不利益を受けませんし、これからの成績に影響することはありません。また、あなたが研究の参加に同意した場合であっても、いつでも研究への参加をとりやめることができます。なお、アンケートは提出をもって同意とします。

8. 研究への参加を中止する場合について

あなたがこの研究へ参加されても、次の場合は参加を中止していただくこととなります。あなたの意思に反して中止せざるをえない場合もありますが、あらかじめご了承ください。中止する場合は、その理由およびそれまでのデータの活用方法などを担当教員からご説明いたします。また、中止後も担当教員が誠意をもってあなたの指導にあたりますので、ご安心ください。

- ① あなたが研究への参加の中止を希望された場合
- ② この研究全体が中止となった場合
- ③ その他、担当教員が中止したほうがよいと判断した場合

9. この研究に関する情報の提供について

この研究は、講義および実習を行いながらアンケート結果を利用させていただくものですが、あなたの安全性や研究への参加の意思に影響を与えるような新たな情報が得られた場合にはすみやかにお伝えします。

また、この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の学生さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。いずれの場合も担当教員にお申し出ください。

10. この研究で得られたデータの取り扱いについて

(1) 個人情報の取扱いについて

この研究にご参加いただいた場合、あなたのアンケート結果などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

また、この研究が正しく行われているかどうかを確認するために、倫理審査委員会などが、あなたの研究の記録などを見る場合があります。このような場合でも、これらの関係者には、記録内容を外部に漏らさないことが法律などで義務付けられているため、あなたの個人情報は守られます。

この研究から得られた結果が、学会や看護学会誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することが外部に漏れることは一切ありません。

(2) 得られたデータの保管について

この研究で収集されたデータは、収集されて研究終了後 3 年間、適切に保管されます。

(3) この研究以外の利用について

あなたのアンケート結果などのこの研究に関するデータは、この研究目的以外に使用しません。

11. 費用負担、研究資金などについて

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する看護学校の研究費で賄われます。したがって、ご参加いただくにあたって、あなたの費用負担はありません。また、ご参加いただくにあたっての謝金などのお支払いもありません。

なお、この研究の研究責任者と研究分担者は、利益相反に関して本院の倫理審査委員会の審査を受けており、関連する企業や団体などと研究の信頼性を損ねるような利害関係を有していないことが確認されております。

12. 知的財産権の帰属について

この研究から成果が得られ、知的財産権などが生じる可能性があります。その権利は研究グループに帰属します。

13. 研究担当者と連絡先（相談窓口）

この研究について、何か聞きたいことやわからないこと、心配なことがありましたら、以下の研究担当者におたずねください。

【本学における研究責任者】

北海道医療センター附属札幌看護学校 教員 矢口由里子
北海道医療センター附属札幌看護学校 教員 山岡久美子
北海道医療センター附属札幌看護学校 教育主事 水野智美

【連絡先・相談窓口】

北海道医療センター附属札幌看護学校
住 所：札幌市西区山の手4条6丁目2番地
電 話：011-611-8170

